平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会参画実習1(Practice in Social Participation 1)			**授業コード**	A031083
担当教員名	森田 和子			**科目ナンバリングコード**	A10202
配当学年	1	**開講期**	後期		
必修・選択区分	全学部　必修	**単位数**	1		
履修上の注意または履修条件	人間力の育成、地方創生の理解、就職に重要な科目ですので、積極的に受講して下さい。 担任制の授業です。 12月21日の成果発表会には必ず出席して下さい。正当な理由がなく欠席した場合は、単位認定されないことがあります。				
受講心得	・人間力を養う上で大切な授業となりますので、無遅刻・無欠席で受講して下さい。 ・ワークショップ時は、ディスカッションや作業などに積極的に参加して下さい。受け身の姿勢では意味がありません。 ・ワークショップでの成果の善し悪しは問いません。過程を重視します。そのため、出席するだけでは単位修得できません。 ・週によっては授業時間内に講義室外へ出る場合がありますので、絶対に遅刻をしないで下さい。また、ワークショップで講義室外へ出るときは、担当教員の許可を得るとともに、安全に注意して下さい。				
教科書	知へのステップ　第4版－大学生からのスタディ･スキルズ－ (くろしお出版)学習技術研究会　編著 ※ 前期使用教科書				
参考文献及び指定図書	なし				
関連科目	社会参画入門、社会参画応用、社会参画実習2、人間力概論ほか、すべての科目				

授業の目的	社会や企業では、様々な価値観・キャリアを持った人々が連携・協力、意見を交わしながら、仕事を進めたり、問題解決したりするのが通常です。本実習では、学科の異なる学生でチーム活動を行い、社会・地域で必要な人間力、社会人基礎力(特にチームで働く力の基礎)＝ジェネリックスキルの向上を図ることを目的に、地方自治体(大分市など)の身近な政策課題に対してチームで課題の整理や根拠のある提案などに取り組みます。本実習を通じて、人間関係形成能力を確固たるものにしていきます。
授業の概要	効果的にジェネリックスキル(コンピテンシー能力、リテラシー能力)を高めるため、学部混成のチーム編成によるワークショップ(発表含む)を8回実施します。 ここでは、地方創生をテーマに、提示された地方自治体の政策から興味のある政策を選択し、自分たち若者が政策により関わっていくための具体的な提案をチームで行います。活動を通じた他人との関わりによってコミュニケーション能力を向上させたり、ワークショップをスムーズに進めるための役割分担や時間管理による規律性などを向上し、コンピテンシー能力の向上を図ります。また、自治体の政策や若者の関わりについて、現地調査や図書館・インターネットによる情報収集、情報分析を行い、政策提案する前提となる課題を発見します。その上で実行可能な提案を考え、それを企画書及び最終発表によるプレゼンテーションにつなげリテラシー能力の向上を図ります。 【キーワード】 ジェネリックスキル(コンピテンシー能力、リテラシー能力)、社会人基礎力、チーム活動、交流、コミュニケーション力、思いやり、時間管理、プレゼンテーション、文章力、地方創生

〇授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 ： 担任授業(1)(10/5) ■ガイダンス　■担任活動　■履修再指導	
第 2 週 ： 担任授業(2)【工学部】／ワークショップの概要説明【経営経済学部】(10/15) ■プレゼンテーションの基本スキル　■わかりやすいプレゼンテーションのために ／■地方自治体(大分市等)の政策　■ワークショップの概要　■課題テーマ出題	教科書第11/12章の 予習・復習 ワークシート
第 3 週 ： ワークショップの概要説明【工学部】／担任授業(2)【経営経済学部】(10/19) ■地方自治体(大分市等)の政策　■ワークショップの概要　■課題テーマ出題 ／■プレゼンテーションの基本スキル　■わかりやすいプレゼンテーションのために	配付資料
第 4 週 ： 担任授業(3)(10/26) ■テーマ選択に基づく仮チーム編成　■情報収集方針の確認 ■事前評価シート記入	情報収集 報告書記載内容の整理

第 5 週 : ワークショップ(1)(11/2)【WSクラス】 ■チーム編成　■情報共有　■活動方針決定　■役割分担の決定	情報の整理及び追加収集 報告書記載内容の整理
第 6 週 : ワークショップ(2)(11/9)【WSクラス】 ■ワークショップ(情報収集) ／ ■出張講義の受講	情報の整理及び追加収集 報告書記載内容の整理
第 7 週 : ワークショップ(3)(11/16)【WSクラス】 ■出張講義の受講 ／ ■ワークショップ(情報収集)	情報の分析及び追加収集 報告書記載内容の整理
第 8 週 : ワークショップ(4)(11/23)【WSクラス】 ■フィールドワーク(情報収集)　■情報分析・課題発見　■中間報告	情報の分析及び追加収集 報告書記載内容の整理
第 9 週 : ワークショップ(5)(11/30)【WSクラス】 ■情報再分析・課題整理 ■構想　□企画アイデア整理　□企画の方向性の決定	企画の整理及び追加収集 報告書記載内容の整理
第10週 : ワークショップ(6)(12/7)【WSクラス】 ■企画書の作成　■口頭発表準備(パワーポイントの作成)	企画書・パワーポイントの作成 報告書記載内容の整理
第11週 : ワークショップ(7)(12/14)【WSクラス】 ■企画書の作成・提出　■口頭発表準備(パワーポイントの作成・発表練習)	企画書・パワーポイントの作成 報告書記載内容の整理
第12週 : 合同ワークショップ(12/21)【発表会クラス合同】 ■全チームによる成果発表会　■代表チームの選出	報告書記載内容の整理
第13週 : 全体成果発表会(1/18)【全体授業】 ■代表チームによる発表	
第14週 : プレースメントテスト(1/25)【学科】 ■プレースメントテスト　■社会人基礎力自己評価　■振り返りシートの記入	報告書記載内容の整理
第15週 : 担任授業(5)(2/1) ■振り返り　■面談	報告書記載内容の整理
第16週 :	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ:ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
備考	ワークショップでは、成果物としてチームで企画書(レジュメ)の提出と最終の口頭発表を求めます。企画書作成方法など不明な点は、授業時間外でも都合の良い時間に遠慮なく質問して下さい。また、授業時間外の企画書・パワーポイント作成、ワークショップなどは、人間力育成センター多目的ルーム(1号館1階)やアクティブラーニング室(4号館1階)などの学内施設を活用して下さい。 都合により、授業の順序、進度が異なる場合があります。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①地域への関心:地方自治体の身近な政策に関心を持ち、自分事にできる。 ②チーム活動:チーム活動に取り組むことができ(主体性)、自分の役割を果たすことができる(情況把握力)。 ③時間管理:ほぼ無遅刻、無欠席で授業に参加できる(規律性)。
【知識・理解】	①情報分析力:収集した情報を分析し、必要な知識を抽出し、理解できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	①コミュニケーション力:チームのメンバーと話し、自分の意見を理解してもらうことができる(発信力)。また、相手の話や意見を聴くことができる(傾聴力)。 ②プレゼンテーション力(情報スキル、発信力):自分の責任範囲の発表ができる。
【思考・判断・創造】	①情報収集力:インターネット等を用いて情報を収集できる。 ②課題発見力:収集した情報を分析し、テーマの問題点や課題を見つけることができる。 ③文章力:自分の責任範囲の成果が記述できる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	20点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		5点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	15点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		30点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	・学修ポートフォリオ【評価シート（事前・事後）、活動記録シート】の書き込み状況を総合的に評価します。（40点） ・最終成果発表会のパワーポイント資料、企画書を総合的に評価します。（チーム評価＆個人評価で25点）
発表・その他（無形成果）	・最終成果発表会のプレゼンテーションを総合的に評価します。（チーム評価＆個人評価で10点） ・授業に欠席したり遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。（15点） ・チーム内でのコミュニケーションに積極的に取り組んだ場合も評価の対象とします。（10点）